

学校教育目標

- ・やさしい子
- ・よく考える子
- ・がんばる子

めざす学校像

「みんなが元気で明るい
きれいな学校」

〒350-1315 狭山市北入曽980

TEL 04-2958-2718

Fax 04-2958-2719

身近にある幸せ

校長 加藤 仁

3月11日の大震災の影響が今も色々な形で残っていますが、身近なところではだいぶ平常時に戻ってきました。3月は信号が消えたり、ガソリンスタンド付近が大渋滞になったり。新学期当初は給食用の食器を各ご家庭から持ってきていただく、牛乳が出ない等の通知を配布したりしました。しかし、すぐそれは解除され、給食には食器がつき、牛乳もおかずも届けられています。先日講話朝会で、被災地の給食の様子を話しました。そこでは、牛乳とパンだけの給食が始まったそうです。それでも教室の子どもたちはすごく明るい顔をしていました。みんなで給食を食べられることの幸せを感じているのです。

この様子を知った時、メーテルリンクの物語「青い鳥」が浮かんできました。チルチルとミチルが幸福の象徴である「青い鳥」を探しに行くが、なかなか見つからず、結局のところ、それは自分の身近なところにあったという話です。また、この作品に因み、いつまでも夢を追い続ける人や、理想を追い求め、現実が見えない人などのことを「青い鳥症候群」と言うそうです。

案外、幸福は身近なところにあるのではないかと。また、それは普段は気づかない。けれど、その日常の当たり前前ことができなくなったり、なくしたりした時に、改めてそのことのありがたみが見えてくる。こんな気持ちになった方は、おそらく今回の大震災を経験して、私だけでなくたくさんおられると思います。学校に普通に児童が通っている。食事が食べられる。お風呂に入れる。そんな当たり前前の幸せが大事なことなのだというを実感したのではないのでしょうか。

我が家では、本当にたまにですが、家族全員で映画を見に行くことがあります。子どもが大きくなっていつまで続くかわかりませんが、このようなささやかなことがとても幸せな時ではないかと改めて思いました。

さらに、学校の子どもたちが皆元気で、職員が一生懸命、教育という責任ある仕事を行ってくれている、そんな日常が、本当は一番の幸せなのではないかと思っています。

普段、見えなかったことが、震災後の被災地の方の様子を新聞やテレビのニュース等で知ることから見えてきたように思います。被災地の方々や関係者の方には、身近に当たり前前ができる幸福を早く感じてほしいと願います。

さて、今年もゴールデンウィークがやってきます。被災地にボランティア活動に行く学生が多いと聞きました。また、今年は、海外旅行等自粛する方が多いとも聞きました。それぞれのご家庭ではどんな計画をたてているのでしょうか。こんな時だからぜひ家族と一緒に過ごす時間をもってほしいと思います。

公園等で家族で遊んだり、みんなでゆっくり食事をしたり、家族での楽しい時間を過ごせるよう計画してほしいと願っています。



4月26日 講話朝会

ある日の1年生

保健室の榎本先生が中心となり、身体測定を行いました。新学期は保健の先生も大忙しです。これから、色々な検診も始まります。

そんなある日、1年生の教室に行くときみんな着替えています。「体育の授業かな」と思いました。そしたら、女の子が「保健室に行くの」と言っていました。「そうか今日は1年生の身体測定の日だ」と思いました。

するとある男の子が「校長先生、パンツも脱ぐの?」と真面目な顔で聞いてきました。

(お風呂じゃないんだから……)

1年生は可愛いと心底思いました。

4月の行事から 1年生を迎える会



元気なお兄さん、お姉さんが1年生を迎えました

20日に、1年生を迎える会を行いました。2年生以上の児童が、とても元気よく、1年生の歓迎の気持ちを表現していました。先生のことを〇×クイズで出題したり「ドキドキドン1年生」の歌を歌ったり、各学年からの出し物があったり、短い時間でしたが、とてもよく考えられた1年生を迎える会でした。また、高学年としての自覚もよく感じられました。

色々な形で保護者の方や地域の方にお世話になります

毎朝、交通量の多い交差点等で校外委員の保護者の方に児童の安全な登校のために立哨指導をしていただき、たいへん感謝しています。そのほかにも本校ではたくさんの保護者の方や地域の方にお世話になります。

本校のPTAの方々には教養講座や広報活動、交通安全、親子の活動の支援等。学校応援団の方には、図書整理、読み聞かせ、環境整備、緑化活動、登下校の見守り、学習支援等。親父の会のお父様方には、学校行事への支援、行事の計画・実施、樹木剪定や除草等。SSVCの方には主に学習支援。(算数や理科、家庭科、総合的な学習等) 入曾 APOCの方には防犯活動、サマーキャンプ、綱引き大会等。入曾地域会議の方には、入間野コンサート、地域パトロール、児童の健全育成等。また、民生委員の方々……等。

多くの皆様に支えられ、たいへん心強く感じています。ありがとうございます。

倅(せがれ)と息子

同じような意味だけれど、調べてみると少し違う言葉があります。日本語の奥の深いところとでも言うのでしょうか? 倅は自分の息子をへりくだって言う言い方だそうです。息子は自分の子。男の子の意味です。

最近、倅という言葉は死語になっています。古の人は他人の子を立て、我が子は他人の子より一段下げたように扱っていたのかもしれませんが。それにしても、我が子もよその子も同じ子。どの子も大切な宝です。